

●がん検診各事業の変遷

事業	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予定)
がん予防対策推進委員会	<p>■がん予防対策推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診率向上部会(2回) ・精度管理部会(2回) 	<p>■がん予防対策推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診率向上部会(2回) ・精度管理部会(2回) 	<p>■がん予防対策推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診率向上部会(2回) ・精度管理部会(2回) 	<p>■がん予防対策推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診率向上部会(2回) ・精度管理部会(2回) 	<p>■がん予防対策推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診率向上部会(2回) ・精度管理部会(2回) 	<p>■がん予防対策推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診率向上部会(2回) ・精度管理部会(2回)
がん検診従事者研修会	<p>■胃がん(2回)</p> <p>■肺がん(1回)</p>	<p>■胃がん(3回)</p> <p>■5がん(1回)</p> <p>■肺がん・胃がん合同(1回)</p>	<p>■胃がん(3回)</p> <p>■肺がん(1回)</p> <p>■大腸がん(1回)</p> <p>■胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がん合同(1回)</p> <p>■乳がん(1回)</p>	<p>■胃がん(6回)</p> <p>■子宮がん(1回)</p>	<p>■胃がん(3回)</p> <p>■がん検診精度管理(1回)</p>	<p>■胃X線検診(1回)</p> <p>■胃内視鏡検診(1回)</p>
県がん検診受診勧奨再勧奨補助金	<p>【モデル事業】</p> <p>■実施市町村数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2市 	<p>■実施市町村数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3市町 	<p>■実施市町村数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9市町 	<p>【本格実施】</p> <p>■実施市町村数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・18市町 	<p>■実施市町村数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・22市町村 	<p>○H30年度廃止</p> <p>→国の補助金で対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・29市町村申請
「がん検診を受けよう!」奈良県民会議	<p>■会員数：116</p> <p>■街頭啓発(参加会員100名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近鉄奈良駅(行基前) ・近鉄奈良駅周辺商店街 ・JR奈良駅 <p>■総会(参加会員150名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県新公会堂 <p>■講演会(県民200名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師：中川恵一准教授(東京大学付属病院放射線科) <p>■展示・展示(参加会員150名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県新公会堂(レセブジョンホール) 	<p>■会員数：116</p> <p>■街頭啓発(参加会員150名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近鉄奈良駅(行基前) ・JR奈良駅 <p>■総会(参加会員150名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レセブジョンホール <p>■講演会(県民200名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師：中川恵一准教授(東京大学付属病院放射線科) <p>■展示・展示(参加会員150名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県新公会堂(レセブジョンホール) 	<p>■会員数：116</p> <p>■街頭啓発(参加会員87名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イオンモール橿原店内 ・イオンモール橿原店 <p>■総会(参加会員94名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イオンモール橿原店(サンプラザコート) <p>■普及イベント(参加者500名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より子コンサート ・対談 ・中川恵一准教授(東京大学付属病院放射線科) ・原千晶(タレント/よっぱの会長) 	<p>■会員数：122</p> <p>■街頭啓発(参加会員60名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近鉄西大寺駅周辺 ・サンワシティ ・ならファミリー周辺 <p>■総会(参加会員73名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋篠音楽堂 <p>■講演会(県民210名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清水健氏(一般社団法人清水健基金代表理事/キッズ) <p>■展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋篠音楽堂ホール 	<p>■会員数：124</p> <p>■街頭啓発(参加会員45名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近鉄西大寺駅周辺 ・近鉄学園前駅周辺 ・サンワシティ ・ならファミリー周辺 <p>■総会(参加会員73名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋篠音楽堂 <p>■講演会(県民210名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清水健氏(一般社団法人清水健基金代表理事/キッズ) <p>■展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋篠音楽堂ホール 	<p>■会員数：125</p> <p>■街頭啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近鉄学園前駅周辺 ・近鉄西大寺駅周辺 ・総会 ・学園前ホール
奈良県がん検診応援団	<p>■加入企業数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11社 <p>○奈良県民会議での意見交換や受診率向上対策の検討</p>	<p>■加入企業数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11社 	<p>■加入企業数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11社 	<p>■加入企業数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12社 	<p>■加入企業数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・14社 	<p>■加入企業数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15社 <div> <div>オリンパス</div> <div>県民会議</div> <div>胃がん検診従事者研修会の協力</div> </div> <div> <div>中外製薬</div> <div>婦人がん市民公開講座を県と共催で実施</div> </div>
がん予防推進員養成	<p>■王寺町 59名</p>	<p>■天理市 44名</p> <p>■宇陀市 33名</p> <p>■香芝市 32名</p> <p>■下市町 7名</p>	<p>■高取町 27名</p> <p>■三郷町 5名</p>	<p>■橿原市 25名</p> <p>■香芝市 14名</p> <p>■宇陀市 113名</p> <p>■高取町 27名</p>	<p>■橿原市 27名</p> <p>■香芝市 11名</p> <p>■宇陀市 212名</p> <p>■斑鳩町 10名</p> <p>■広陵町 160名</p>	<p>H29年度で「がん予防推進員」養成の補助金(奈良県がん検診の受診勧奨・再勧奨補助金)廃止</p> <p>H30年度は、県民会議の一環として、「がん検診市町村協働啓発事業」を実施する上牧町、下北山村で、「がん予防推進員」を養成。</p> <p>下北山村：9/28 42名養成</p>
がん検診市町村協働啓発事業					<p>■天理市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天理駅前広場コッポラ <p>■高取町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リベルテホール <p>■上牧町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2000年会館 ・スーパ-おくやま(啓発) 	

「がん検診を受けよう！」奈良県民会議 街頭キャンペーン・講演会・総会

開催！

日本人の3人に1人ががんで命を落とし、奈良県でも年間約4000人ががんで命を落としています。がんにならない生活習慣を心がけるとともに、「がん検診」の受診が大切です。

10月10日は「奈良県がんと向き合う日」。がん検診の普及啓発を目的とした講演会を開催しますので、参加者を募集します！奮ってご応募下さい！当日は街頭キャンペーン・総会も実施します！

日 程

平成 30 年 10 月 10 日 (水)

主 催

「がん検診を受けよう！」奈良県民会議・奈良県

街頭キャンペーン

時 間 12:00～13:00

場 所 近鉄学園前駅前
近鉄大和西大寺駅周辺
近鉄菖蒲池駅前 ほか

内 容 「がん検診を受けよう！」奈良県民会議会員等により、がん検診普及啓発グッズを配布します。



平成29年10月10日の街頭キャンペーンの様子

講 演 会

無料

時 間 14:50～16:00

場 所 奈良市西部会館市民ホール
(学園前ホール)
奈良市学園前3-1-5西部会館3階

講 師 タレント／山田邦子さん

演 題 「大丈夫だよ、がんばろう！」

内 容 乳がんの罹患経験者である山田邦子さんに、乳がんの闘病体験や現在の活動などを交えて、がん検診の大切さをお話いただきます。

定 員 200名 (抽選)

申込締切 平成30年9月18日(火)

講演会の申込方法、詳細については、別添チラシをご参照ください。

会員向け

総 会

時 間 14:00～14:30

場 所 奈良市西部会館市民ホール (学園前ホール)

内 容 平成30年度会員取組方針発表等
がん検診普及啓発の取組みに対する知事表彰 表彰式
市町村のがん検診普及啓発の取組発表



平成29年10月10日の知事表彰の様子

「がん検診を受けよう！」奈良県民会議 街頭キャンペーン・総会・講演会を開催し、がん検診受診率向上に向け、がん検診の必要性を周知しました。街頭キャンペーンでは1400セットのがん検診啓発グッズの配布、講演会には会員、県民合わせて273名が参加しました。

概 要：

平成 30 年 10 月 10 日（水）

時間	内容	場所
12:00 ～ 13:00	<p><u>「がん検診を受けよう！」奈良県民会議 街頭キャンペーン</u></p> <p>内容：各啓発場所に分かれて、がん検診受診啓発（せんとくん登場）</p> <p>啓発者：会員59名</p> <p>西大寺幼稚園園児10名 帝塚山幼稚園園児15名</p> <p>右京保育園園児32名 奈良文化高校看護学生8名</p> <p>啓発グッズ：1400セット配布</p>	<p>近鉄学園前駅前</p> <p>近鉄大和西大寺駅前</p> <p>サンワシティ</p> <p>近鉄菖蒲池駅前</p> <p>近鉄高の原駅</p> <p>JR 王寺駅前</p>
14:00 ～ 14:30	<p><u>「がん検診を受けよう！」奈良県民会議 総会</u></p> <p>内容：挨拶（村田副知事）</p> <p>平成 30 年度会員取組方針発表（林福祉医療部長）</p> <p>平成 30 年度がん検診普及啓発の取組みに対する知事表彰</p> <p>受賞者：香芝市がん予防推進員、中外製薬株式会社奈良・和歌山支店、山本松産業株式会社</p> <p>葛城市におけるがん検診個別受診勧奨の取組報告</p> <p>参加者：会員97名</p>	学園前ホール
14:50 ～ 16:00	<p><u>「がん検診を受けよう！」奈良県民会議 講演会</u></p> <p>内容：演題「大丈夫だよ、がんばろう！」</p> <p>講師 タレント 山田 邦子氏</p> <p>参加者：273名（内会員93名）</p>	学園前ホール



街頭キャンペーン



総会



知事表彰



講演会

がん検診推進事業（H25～27年度）

資料9-3

（健康寿命を延長する取組推進モデル事業の取組・がん予防推進員の養成）

H25年度

実施市：2

【個別受診勧奨・再勧奨】

- 生駒市（大腸がん再勧奨）
- 葛城市（子宮がん受診勧奨・再勧奨）

H26年度

実施市町：3

【個別受診勧奨・再勧奨】

- 天理市（5がん受診勧奨）
- 川西町（大腸がん受診勧奨・再勧奨）
- 王寺町（子宮・乳がん受診勧奨・再勧奨）

【がん検診受診率調査等】

がん検診受診の市民実態調査と
効果的対策の検討の実施（五條市）

H27年度

実施市町：9

【個別受診勧奨・再勧奨】

- 天理市（5がん受診勧奨）
- 桜井市（胃がん受診勧奨・再勧奨）
- 五條市（胃がん・乳がん受診勧奨・再勧奨）
- 御所市（胃がん受診勧奨・再勧奨）
- 葛城市（胃がん受診勧奨・再勧奨）
- 川西町（子宮がん受診勧奨再勧奨）
- 王寺町（肺がん受診勧奨・再勧奨）
- 広陵町（胃がん受診勧奨・再勧奨）
- 下市町（胃がん・肺がん受診勧奨・再勧奨）

【効果検証・報告会等】

- ◆8月・3月
- 国立がん研究センターの専門家の
助言等
- 取り組み成果の情報共有

【効果検証・報告会等】

- ◆10月・3月
- 国立がん研究センターの専門家の
助言等
- 取り組み成果の情報共有

【効果検証・報告会等】

- ◆6月・11月・3月
- 国立がん研究センターの専門家の助言等
- ・受診者数の伸びは、全国的に見てもトップ
- ・県が市町村の取組を支援していることは評価
できる
- 取り組み成果の情報共有
- ・成果の上があった他の市町村の取り組みは大変
参考になる

がん予防推進員養成事業
（王寺町）

がん予防推進員養成事業
（天理市・宇陀市・香芝市・下市町）

がん予防推進員養成事業
（三郷町・高取町）

※がん予防推進員：がんに関する正しい知識及びがん検診の必要性に関する理解を深め、自ら積極的にがん検診を受けるとともに、家庭や地域など、草の根レベルでがん検診の受診を促す。

がん検診の受診勧奨・再勧奨支援事業 (H28～H29年度)

県補助金の
創設

受診率向上の効果が実証された個別受診勧奨に取り組み市町村を支援・がん予防推進員の養成

H28年度

【個別受診勧奨・再勧奨】

- 大和高田市 (乳がん・子宮がん受診勧奨)
○天理市 (5がん・3がん・子宮がん再勧奨)
○橿原市 (3がん・乳がん・子宮がん受診勧奨)
○桜井市 (胃がん・乳がん・子宮がん再勧奨)
○五條市 (胃がん・乳がん・子宮がん再勧奨)
○御所市 (胃がん・乳がん・子宮がん再勧奨)
○香芝市 (大腸がん・肺がん・乳がん・子宮がん受診勧奨)
○葛城市 (胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮がん再勧奨)
○宇陀市 (胃がん再勧奨)
○三郷町 (乳がん・子宮がん再勧奨)
○三川町 (大腸がん受診勧奨)
○三宅町 (肺がん再勧奨)
○高取町 (子宮がん再勧奨)
○上牧町 (大腸がん・大腸がん・乳がん・子宮がん再勧奨)
○寺陵町 (大腸がん・大腸がん・子宮がん再勧奨)
○大淀町 (大腸がん・乳がん・子宮がん再勧奨)
○下市町 (乳がん・子宮がん再勧奨)
○大陽市 (大腸がん再勧奨)

実施市町: 18

【効果検証・
報告会等】
◆7月
○国立がん研究
センターの専門家
の助言等
○取り組み成果の
情報共有

がん予防推進員
養成事業
(橿原市・香芝市・
宇陀市・高取町)

※平成28年度の「受診勧奨・再勧奨」の定義について、「新たなステージ」に入ったがん検診の
総合支援事業(国庫)以下、「新たなステージ」の交付要綱では、市町村から受診案内(県
の定義で「コール」)をしたにもかかわらず、受診しなかったものに対する受診勧奨を「コール」
(県の定義で「コール」としているが、ここでの表記は、「新たなステージ」でいう「コール(受診
勧奨)」を県の定義に合わせて「リコール(再勧奨)」とする。

H29年度

【個別受診勧奨・再勧奨】

- 大和高田市 (5がん・子宮がん受診勧奨)
○天理市 (5がん・3がん・子宮がん再勧奨)
○橿原市 (大腸がん・乳がん・子宮がん再勧奨)
○五條市 (5がん・乳がん・子宮がん再勧奨)
○御所市 (乳がん再勧奨)
○生駒市 (5がん・子宮がん再勧奨)
○香芝市 (子宮がん再勧奨)
○葛城市 (大腸がん再勧奨)
○宇陀市 (5がん・大腸がん・子宮がん再勧奨)
○三郷町 (大腸がん・乳がん・子宮がん再勧奨)
○三川町 (大腸がん・乳がん・子宮がん再勧奨)
○三宅町 (大腸がん・乳がん・子宮がん再勧奨)
○高取町 (大腸がん・乳がん・子宮がん再勧奨)
○上牧町 (3がん・肺がん・子宮がん再勧奨)
○寺陵町 (肺がん・乳がん再勧奨)
○大淀町 (5がん・大腸がん再勧奨)
○下市町 (大腸がん再勧奨)
○大陽市 (大腸がん・乳がん・子宮がん再勧奨)
○吉野町 (大腸がん・乳がん・子宮がん再勧奨)
○大淀町 (5がん・大腸がん再勧奨)
○下市町 (大腸がん再勧奨)
○三川村 (胃がん再勧奨)
○大陽市 (5がん・大腸がん再勧奨)

実施市町村: 22

【効果検証・
報告会等】
◆7月
○国立がん研究
センターの専門家
の助言等
○取り組み成果の
情報共有

がん予防推進員
養成事業
(橿原市・香芝市・
宇陀市・斑鳩町・
広陵町)

奈良県がん検診受診勧奨・再勧奨支援事業(平成29年度実績)報告会

- 目的 ・市町村が、がん検診受診率向上対策として、当事業実施市町村の取組を共有し、今後自市町村における効果的な受診勧奨に役立てる機会とする。
- 対象 ・市町村及び保健所がん検診担当
・奈良県がん予防対策推進委員会委員及び胃がん検診部会委員
- 内容

日 時・場 所	内 容・講 師	参加者
平成30年7月2日(月) 13:15～16:15 奈良商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ・実施市町村による発表 ・グループワーク「効果的な受診勧奨を実施するための具体的対策について」 ・全体助言者 国立がん研究センター社会と健康研究センター 山本 精一郎氏、溝田 友里氏 	計43名

- 概要 ・市町村の取り組みを共有し、専門的な視点から助言を得られることで、今後の個別勧奨・再勧奨の方向性について各市町村が考える機会となった。
- ・またグループワークを実施することで、効果的な受診率向上に向けた対策について意見交換し、次年度に生かせる具体的な内容を検討できた考える。



がん検診受診勧奨・再勧奨を活用した市町村受診者数の変化

[illegible]

効果的にコール・リコールを実施する上での課題、解決策等

分類	受診率向上に効果的な方法	改善を要すること・実務上の困り事	解決策等
コール・リコールの対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・検診の種類、年代を絞る ・一律に年齢で区切るのではなく、過去5年間のうち受診歴がある人など、「無関心者」よりも、勧奨効果の高い対象を選定する 	<ul style="list-style-type: none"> ・コール・リコールの効果で受診した人を継続受診につなげる取り組み方法はどうするか ・「なぜ自分には来ないのか」「案内がないと受診できないと勘違いする」などの反応があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な対象選定や抽出のためにも、データベースをきっちりと整えることが非常に重要(基本)。 ・保険が国保に切り替わる時期に受診勧奨を行う。 ・罹患率が上昇する年代へ受診勧奨を行う。
資料の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○国がん提供資料 <ul style="list-style-type: none"> ・変更可能な箇所のみ変える(紙の大きさ、紙質(厚さ)など資料の仕様を変えない) ・同封資料の情報ではできるだけ文字を少なく、簡潔にする ○独自資料 <ul style="list-style-type: none"> ・受診者が行動しやすい内容 ・情報はできるだけ文字を少なく、簡潔にする 	<ul style="list-style-type: none"> ○国がん提供資料 <ul style="list-style-type: none"> ・圧着はがきで受診券を同封できない。 ・変更できる内容が制限されているため、実務をする上で弊害となることもある。(例:住民からのクレームになると予想されるもの) ○独自資料 <ul style="list-style-type: none"> ・あれもこれも情報を入れすぎた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・圧着はがきの中面に、受診券が入れられないのか、今後国がんで検討。 ・住民からのクレームに備えていろいろな情報を記載してしまうが、どんなに丁寧に記載してもクレームは生まれる。必要な情報を記載することで、多くの人が理解し、受けてもらうことが大切。 ・資料は具体的に、わかりやすく書くことに時間を割くことが必要。
検診体制	<ul style="list-style-type: none"> ・コール・リコールに合わせ、集団検診、個別検診の受け皿を確保する(日程、人数など) ・セット検診を用意するなど、他の検診の受診者数の増加も狙う。 ・案内を受け取ったら、すぐに申し込める体制を整える ・通知の効果は3カ月以内と考え、申込みを受ける時期と検診時期と近づける。 ・個別検診では、通知を受け取ってから、受診まで受診者の利便性を高める工夫を行う(受診券は不要、窓口交付でなく郵送等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団検診が定員に達し、キャンセル待ちや断るケース(個別検診への案内)が出てしまった。 ・コールで年末まで集団検診の予約ができるようにしたため、予約は多く受けたが、当日ドタキャンが多くあり、受診者数が伸びなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受けられない方が出てくるのであれば、回数を増やすことも必要。 ・セット検診、集団検診等で一緒に受けることができる、ということが効果が高いように考える。個別検診では、1つの医療機関でいくつも受けることができるような体制など、うまく「ついで」に受けられるよう誘導することも一つの考え方。 ・通知の効果は3カ月以内と考え、申込みを受ける時期と検診時期を近づけると効果的。

平成30年度 胃がん検診従事者研修会開催要領

1 趣 旨

奈良県市町村がん検診精度管理要領に基づき、胃X線検診事業及び胃内視鏡検診事業を円滑に推進するため、市町村が実施する胃X線検診及び胃内視鏡検診に従事する者の資質の向上強いては胃X線検診及び胃内視鏡検診の精度の向上を図ることを目的として、奈良県がん予防対策推進委員会胃がん検診部会の指導のもとに研修会を開催する。

2 対 象

(胃 X 線検診)

- ・市町村が実施する胃 X 線検診に従事する医師、看護師、放射線技師等
- ・胃 X 線検診に従事する市町村・保健所職員等

(胃内視鏡検診)

- ・市町村が実施する胃内視鏡検診に従事する医師、看護師、臨床検査技師等
- ・胃内視鏡検診に従事する市町村・保健所職員等

3 実施主体

主催：奈良県

共催：奈良県医師会

4 開催日時・場所

日 時：平成31年 1月5日(土)

第一部 胃 X 線検診従事者研修会 13:30～15:30 (受付 13:15～)

第二部 胃内視鏡検診従事者研修会 16:00～18:00 (受付 15:45～)

場 所：かしはら万葉ホール 4階 研修室2

内 容：第一部 胃 X 線検診従事者研修会

(1)胃 X 線検診の精度管理について

(2)平成29年度胃 X 線検診における発見がんの状況、症例検討

講師：奈良県立医科大学 放射線医学教室 講師 伊藤高広氏

第二部 胃内視鏡検診従事者研修会

(1)国の指針に基づくがん検診と精度管理について

奈良県福祉医療部医療政策局疾病対策課

(2)内視鏡の構造と洗浄消毒について

オリンパスメディカルサイエンス販売株式会社

(3)平成29年度胃内視鏡検診の画像評価結果と発見がんの状況、症例検討

講師：奈良県立医科大学消化器・内分泌代謝内科 講師 赤羽たけみ氏

※コーディネーター：奈良県立医科大学附属病院中央内視鏡部 病院教授

山尾 純一氏

5 申込方法

申込み期限までに申込用紙に必要事項を記入の上、FAX またはメールにて疾病対策課に申し込む。

6 その他

- ・日本医師会生涯教育制度指定講習会認定(胃 X 線:2.0 単位)(胃内視鏡:2.0 単位) ※申請中
- ・出席状況については、市町村へ情報提供する。

平成30年度 奈良県がん検診従事者研修会 実績

1. 胃がん検診従事者研修会

日時：平成30年1月5日（土） 13：30～18：00

場所：かしはら万葉ホール 研修室2

第一部 胃X線検診従事者研修会

時間：13：30～15：30

内容：①胃X線検診の精度管理について
②平成29年度胃X線検診における
発見がんの状況、症例検討

講師：奈良県立医科大学
放射線医学教室 伊藤 高広先生

参加者数：医療機関	60名
市町村	32名
合計	92名

第二部 胃内視鏡検診従事者研修会

時間：16：00～18：00

内容：①国の指針に基づくがん検診と
精度管理について
②内視鏡の構造と洗浄消毒について
③平成29年度胃内視鏡検診の画像
評価結果と発見がんの状況、症例
検討

講師：奈良県立医科大学
消化器・内分泌代謝内科
赤羽 たけみ先生

コーディネーター：
奈良県立医科大学附属病院
中央内視鏡部 山尾 純一先生

参加者数：医療機関	63名
市町村	31名
合計	94名

※第一部、第二部参加者のうち、第一部、第二部ともに参加した人数は、
医療機関25名、市町村30名、合計55名

